

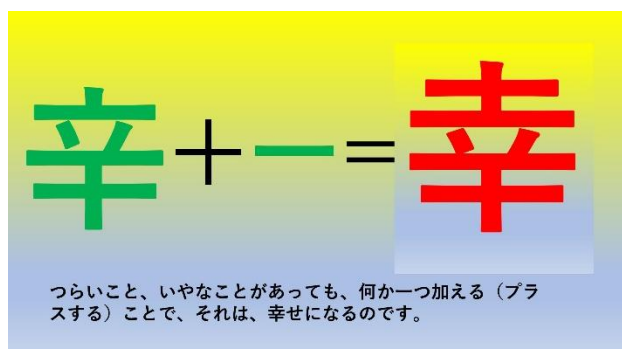
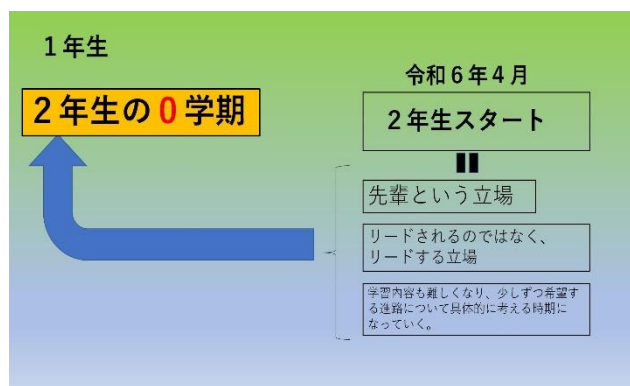
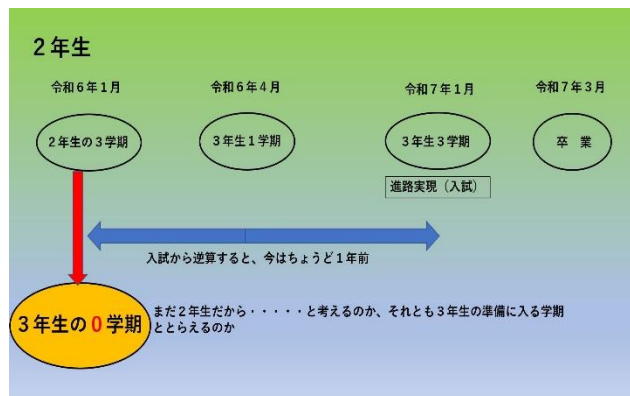
岩屋中だより

令和6年1月9日 NO21

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

3学期は、4月から始まる新しい生活の『0』学期～前号の続き～



2年生の皆さんは、3年生の内容を聞けば、自分たちが今後どのような立場になっていくか想像できるでしょう。人生の中で勝負の年を迎えるのです。それが中学3年生。その勝負の『時』は3年生の3学期。今は、そのちょうど1年前です。2年生のこの3学期は、勝負の時の1年前になるのです。勝負の年＝3年生と考えるならば、その勝負は始まっているのです。だからこそ、その3年生につながる学期にしなければ、勝負に出遅れます。私は、2年生の3学期は、3年生の0（ゼロ）学期だと思っています。3年生の1学期につなぐことができる3学期でなければなりません。2年生の学年目標は『ブリッジ』です。『つなぐ』という意味があることを聞いています。まさに、その目標どおりです。

1年生。4月からは、2年生です。2年生という立場は今の立場から大きく変わります。先輩という立場になり、リードされていた立場からリードする立場になります。学習内容も難しくなり、中学校卒業後の進路をどうするかをそろそろ考えていかなければならない立場になります。そのような2年生になるために、今こそ、しっかり根を張る学期でなければなりません。2年生の1学期につながる0（ゼロ）学期なのです。1年生だから……という甘えが許されなくなっていくのです。

『根を張る』という1年生の学年目標がありますが、先輩から頼られたときに、決して揺るがない根を張ってほしいと思います。

全学年にいえること。それは、今は（今学期は）、将来につなげる重要な第一歩ということです。（令和6年度につながる重要な第一歩です。）

将来のために、努力することは、楽しい時間を努力の時間に変えなければならいので、やはりつらい部分があります。やりたくないなということもしなければならいからつらいわけです。しかし、少しの努力を加えるのです。つらいという字に『一つ』を『加える（プラスする）』と、どのような字になりますか？幸せという自になるのです。大それたことをしなくてよいのです。今の自分に少しずつ努力を加えていくことで幸せになるのです。2学期話した『吐』とか、『叶』ということばと併せて努力に一步にしてください。また、私たちの集団生活のあり方についても、支え合う集団、互いにありがとうと感謝できる集団を目指してほしいと思います。

『優』しいという字の意味も2学期に伝えました。自分の行動が皆の幸せにつながる『プラスの一』になるかどうかを考えて行動できれば、支え合う集団になるはずです。